



かんれい

学校だより 第26号

発行 函嶺白百合学園小学校
足柄下郡箱根町強羅 1320

Tel 0460(87)6611

発行日 平成27年12月11日

「なるほど!」「すごいな!」郵便局見学! 2年生

はじめての見学で、平塚郵便局に行ってまいりました。学校で事前学習をし、どのような仕事をしているのか、どのような機械があるのかなど、見たいこと、聞きたいことをまとめて見学へ。普段見ることのできない、郵便局の裏側を見せていただきました。

はじめに郵便に関する映像と解説のDVDを見て、疑問に感じていたことや郵便の仕組みがだんだんとわかってきました。その後は、消印を押す機械、住所ごとに手紙を分ける区分機などを見ると「おーすごい。」と、目を大きくあけ見っていました。また、手紙一つ一つに、見えないインクのバーコードをつけている



こと、区分機は1秒間に11枚もの手紙を分けることができるということを知り、大変驚いている様子。手紙が分けられ、配達されるまでにどのような人が関わっているのかを実際に見ることができ、大変有意義な見学となりました。

そして11月17日、郵便局見学後、学んだことを活かし、準備を進めてきた子ども達。

ついに校内郵便の『かんれいゆうびんきょく』を開局することができました。この日を迎えることができ、2年生は大喜びです。早速、朝のお手紙集めをし、消印を押して、区分箱へ。予定通り仕事を進める子どもたち。15分休みには各教室に手紙を無事に配達しました。

順調に、協力し合いながら仕事を進めることができていたようです。明日も協力して、仕事を頑張してほしいと思います。



消印を押しています



これから配達に出発!

お留守番はお任せを！ 5年生

6年生が修学旅行のため、9月15日からの4日間、最上級生となった5年生。朝の1年生のお世話とお掃除、下校時の戸締まりの仕事を任せられました。

初日。毎朝8時15分には、にぎやかな教室がシーン……。みんな普段より1本遅い電車に乗って、1年生と一緒に登校してくれているのだと、一安心しました。校庭で待っていると……。来ました、来ました！ニコニコ顔で手をつないだ1年生と5年生が！「話してくれてホッとした」「笑ってくれてうれしかった」という感想がありました。きっと、どちらもドキドキだったことでしょう。お掃除も少ない人数で集中して取り組んだ様子。一日を終え戸締まりをするたびに、上級生としての自覚と責任感が増していったことでしょう。やり遂げた自信をこれから始まるたてわり活動の中で発揮してほしいと願っています。



～ご参観 ありがとうございます～ 4年生



自由授業参観の日、5時間目に行われた英語発表会。子ども達はワクワクなのか、ドキドキなのか、4時間目の授業からとても興奮していて、私が“大丈夫かしら”と心配してしまうほどでした。

発表会で「大きなかぶ」をすることを伝えたのは9月の初めでした。劇での発表と知った子ども達はとても嬉しそうで、早速台詞の練習を始めました。しかしこのお話で何度も出てくる「turnip」の発音に大苦戦。フォニックスで学習した発音の仕方を思い出したり、お友達の口の形を真似したり、先生の発音をよく聞きながら、何度も声にだして練習をしました。1ヶ月という練習期間、一人ひとりが授業時間以外にも努力をし、素晴らしい吸収力で、英語の台詞を覚えめました。ご家庭でも練習にご協力いただいたこと、本当にありがとうございました。

4年生全員で円陣を組んで、いよいよ本番。どことなく落ち着かなかった子ども達ですが、舞台上上がると、堂々とした姿で自分の役を演じていきます。「turnip」の発音も、とても上手になっていました。強調するところ、ゆっくり言うところ、練習の成果を十分に発揮し、「The end」を言い終えた子ども達は、何とも言いようのない晴々しい顔をしていました。教室に戻ってくると、「あー緊張した。」「頑張った。」という声とともに「他の劇もやってみたい。」という声も。日々学習していた英語が一つの形となり、子ども達の自信にもつながったようです。

たてわり活動 6年生

10月14日(水)に行われたオリンピック大会。この日も快晴。今年の競技は「スピードボール」と毎年恒例の大縄とび「8の字とび」。大会一週間前から大縄の練習が行われ、休み時間にグループで練習をしました。今年の1年生は跳べる子が多く、6年生はそれほど苦労している様子はありませんでしたが、それでも跳べない子がいるグループは、皆で一生懸命縄に入るタイミングを教えます。「ハイ」と声かけをしたり、入るときに背中を押してあげたり、跳ぶことができるようにと必死です。その練習の成果が出たのか、本番では練習以上に多く跳ぶことができたグループが多くあったようです。



毎年思うのですが、本当に微笑ましい光景です。跳べた時の1年生の笑顔。下級生が跳べた時の6年生の笑顔。大会中はみんなの笑顔で溢れています。もう一つの競技「スピードボール」も楽しそうに行っていました。上級生・下級生が学年の枠を超えて協力し合い、楽しそうに体を動かし汗を流すこのオリンピック大会が私は大好きです。どの児童の顔もきらきら輝いていました。

かまぼこ博物館 3年生

お家で召し上がった手作りかまぼこの味はいかがでしたか？



かまぼこ博物館では、魚のすり身をかまぼこ板に包丁でつける工程を体験しました。初めに職人さんが実演してくださるのですが、無駄のないスムーズな動きに一同拍手！一分もたずに美味しいかまぼこができあがりしました。さあ、次は私たちの番。気合が入ります。ところが…アレシ？『板にすり身がきちんとつかないなあ。形もなかなか整わないし、手にすり身がべとべとついて作業しにくい。』職人さんはとても簡単そうに作っていたけれど、実際にやってみると大違い。次は、竹輪作り。難しい作り方と、簡単な作り方を2通り教えていただき、ほとんどの3年生が簡単な作り方を選択。竹の棒の真ん中に、ボール状のすり身を手でつけるだけ。30分ほどで焼き上がり、いい具合に焦げ目のついたあつあつの竹輪をその場でいただいて、みんな笑顔。耳で聞き、目で見て学び、そして体験。最後は舌で味わうことができ、大満足の校外学習となりました。



おもいがけない もよう や いろ に 1年生

夏休みに保存していただいた朝顔の花の色水を使って、生活科では作品を作ることになりました。作るものは、七五三の時に使用する千歳飴を入れる袋です。子ども達にそのことを伝えると、「わーい。どんな袋ができるのかな?」「早く作りたい。」などといった声が次々と聞こえて、わたくしまでテンションが上がりました。



まずは、大きな和紙を、色水を吸い込ませるために折りたたんでいきました。折り方や色水によって、できる模様が違ってくことを説明すると、色々と折り方を変えて工夫していました。「先生、このように折るとどんな模様ができますか?」という研究熱心な質問に戸惑ってしまう場面もありました。数日後、いよいよ染色の日。自分で持ってきた朝顔にお水を入れて、もんでいきました。少しもんだだけでも透明だった水に色がついてきて、子ども達は大喜び。「先生、きれいです。」「こんな色ができました。」「先生、もっと濃くしますか?」などといった声があちらこちらから聞こえ、色水作りを楽しんでいる様子でした。次は和紙に色水を吸い込ませていきます。真っ白だった和紙に色がついていくと、それをじっと見つめる子もいて、じわじわ広がる色の世界に引き込まれていきました。そしてそれをゆっくりゆっくり広げていくと、予想をしていなかった模様ができていくことに、これまた大喜び。できた模様をお友達に見せたり、お友達の物を褒めたりして、偶然からできた色や模様を楽しんでいました。次は七五三の袋を実際に作りあげていきます。さて、どんなオリジナルの袋ができあがるのでしょうか。



のあちゃんの心臓移植手術費用の募金について

八代白百合学園の呼びかけで始まったこの活動で、8万3,975円の募金が集まりました。みな様のご協力、誠にありがとうございました。早速、「のあちゃんを救う会」へ送らせていただきます。

平成 28 年度 転入学児童募集

試験日 1月23日(土)

出願期間 1月12日(火)～1月19日(火)

※出願書類をご希望の方は学園までお問い合わせください。

公開行事日程

クリスマス発表会 12月18日(金)

展覧会 2月20日(土)

21日(日)